

2019年度 第1回指導医制度委員会 議事録

日時：2019年6月18日（火）14時00分～16時00分

場所：マイナビルーム ROOM7（東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2F）

出席者：前田 健（理事）、田中 信弘（委員長）、伊東 学、江幡 重人、佐藤 公昭、竹林 庸雄、渡邊 航太

欠席者：尾形 直則、海渡 貴司、筑田 博隆、星野 雅俊、水谷 潤

< 審議事項 >

- 1) 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医の条件に日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医が必要か

現行の脊椎脊髄外科指導医制度の成立の歴史を鑑み、脊椎脊髄外科専門医における制度上の方向性が不確定な現状では、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医の条件を外すことは時期尚早との結論であった。今後提示される専門医機構の判断を確認しながら、あるべき指導医制度確立に向けて、将来の方向性を含めた検討を今後継続しておこなう。

- 2) 指導医新規申請、更新時の提出症例にいわゆる PELD を含めて良いか

全内視鏡脊椎手術、全内視鏡ヘルニア摘出術は経皮的小手術に該当しないと判断され、指導医新規申請、更新時の症例として提出可能とした。指導医申請における Q&A を変更する予定とした。

- 3) ホームページ上への 1) 医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修単位などの受講、2) 日本脊椎脊髄病学会の参加履歴の表示について

1) の医療安全などの受講証明は指導医更新時に不備を生じやすいため、受講履歴を HP 上に表示することに関しては指導医制度委員会としては賛成である。2) 学会の参加履歴に関しては指導医制度委員会のみで討議することは不適切と判断し、理事会で協議していただくこととした。